

医療創生大学 2025 年度 一般入試（前期/中期）

出題意図

【国際看護学部看護学科】

区 分	出題意図
国際看護学部 一般入試/前期 一般入試/中期	■英語 一般入試（前期）の英語は、生態系（サイエンス関連）と時事問題（エネルギー危機）の2つの記事を引用し、日常生活場面で使用されている比較的平易な英語の基礎力と読解力を測る。英語の試験で求めている能力は、単に英文を読み解くのみでなく、簡潔に日本語で認識可能であり、文脈を把握できるか否かといった、英文解釈の能力である。 その他、熟語力・語彙力を問う問題、文を構成させる穴埋め問題と対話を完成させ文脈判断力を確認する問題である。合計5つの設問を出題する。 一般入試（中期）の英語は、一般入試（前期）と同様に2問の読解と、さらに基本的な英文の文書表現ルール（英文法）が認識できるかを確認する問題である。長文2問で、1問はスポーツと科学を問う問題、2問目は学生の国家財政の認識に関わる文書を読み解く問題とする。 その他、一般入試（前期）と同様に熟語力や英文の構成力及び会話力を問う。 ■国語 一般入試（前期）は、3つの長文を正確に読み、筆者の主張や文章の要旨を把握する読解力、文章の構成や論の展開を理解する論理的思考力を確認する。また、熟語、漢字、慣用句などの基本的な国語力を確認する問題である。時間内で長文を読み取る読解力も確認する。 一般入試（中期）も同様に長文通読を3問出題し、その文章に述べられている意図が的確に読みとれているかどうかを問う。読解力や熟語・漢字など基本的な国語力が身についているかどうかについて確認できるような問題とする。看護職を目指す上で必要となる基礎的な言語能力と論理的思考力を測る。 ■数学 数学の一般入試（前期）では、基本的な数学Ⅰの範囲で取り扱われている代数や幾何の初歩的な問題を出題する。また三角関数や確率など、看護の実践や大学での統計学等の学修に繋がるような論理的思考力と数理的な基礎能力を評価する。 一般入試（中期）の問題においても、出題内容は高等学校の数学の基本的課題に対して解答を導けるかどうかを問うものであり、数学の基礎力を確認する問題である。